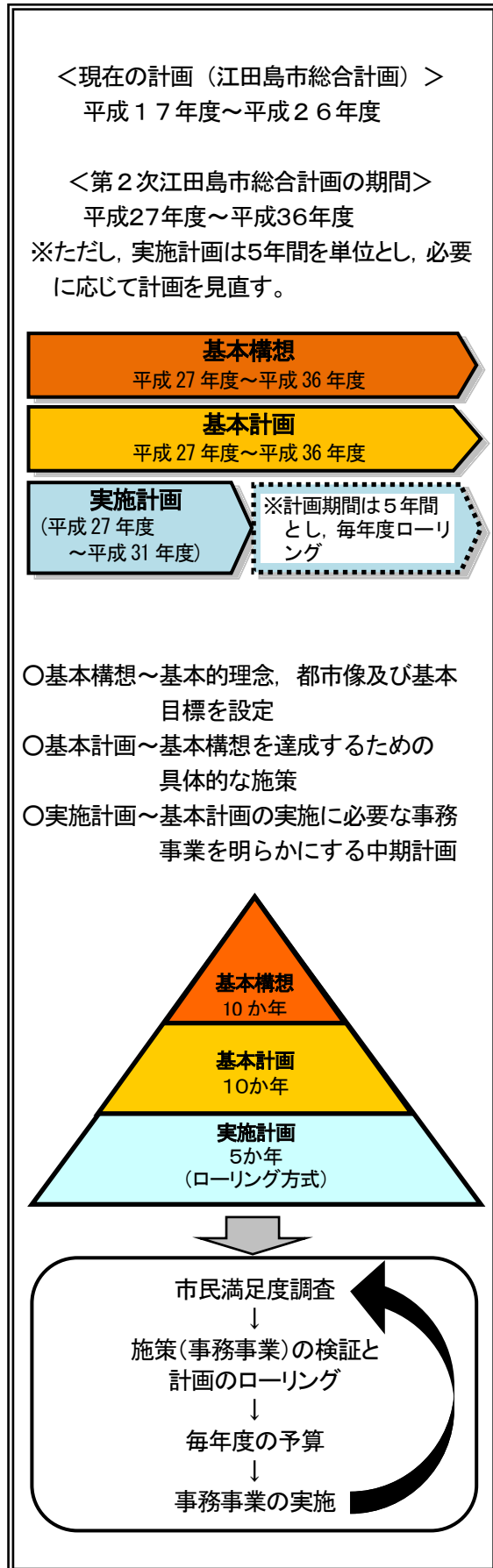


～総合計画の計画期間と構成～



～環境分析～

- まちづくりを取り巻く状況と課題
- 1 人口減少・少子高齢社会の到来
 - 2 グローバル化の進展
 - 3 厳しい財政状況
 - 4 地方分権の進展
 - 5 社会資本ストックの老朽化と再編・整備
 - 6 防災意識の高まりと災害に強い国土づくりの進展
 - 7 地球規模での環境悪化と循環型社会に向けた取組
 - 8 成熟社会と協働のまちづくりの高まり

- 合併後の10年を振り返って
- 1 施策の全体的な評価と課題
 - 目標人口(27,000人)を割り込むことが確実な状況
 - 広島湾架橋や津久茂架橋などの開発構想の動きはなし
 - 行財政改革への取組(地方債残高の減少、職員数の削減)
 - 江田島らしさや特色づくりにつながる取組(オーリーブ、サイクリング、子育てなど)
 - コミュニティの維持・活性化、産業振興・雇用の確保、公共施設の再編・整備など課題は山積
 - 2 市民の意識・意見
 - 住みよさに対する一定の評価(住みやすい>住みにくい)
 - 10年前と比べた評価の低さ(良くなった<悪くなった)
 - 江田島市の各種取組に対する厳しい評価
 - 「交通」、「働く場」、「医療、救急医療」に関することが3大問題点
 - まちづくりのキーワードは、「住みよさ」、「海・自然」、「支え合い」などが上位

～第2次江田島市総合計画が目指すまちづくり～

計画推進の条件整備

- 地方分権に対応した地域経営の基盤づくり ～ 効率的な行財政運営・PDCAによる点検評価の仕組み など
- 市民参画による協働のまちづくり ～ 市民と行政が協働してまちづくりに取り組む仕組み など
- 広域的な視点に立った交流のまちづくり ～ 周辺自治体(広島市・呉市等)との連携・協力関係の発展 など

